## 2012年12月期 第3四半期決算 参考資料<連結>

(単位:千台・億円)

							(単位:	千台•億円)
			前第3四半期累計実績		当第3四半期累計実績		通期見通し (8月7日発表)	
			2011年1月~9月		2012年1月~9月		2012年1月~12月	
売上高			9,858	(△0.2%)	9,095	(△7.7%)	12,000	(△6.0%)
国内売上			1,085	(△0.2%)	1,176	(+8.4%)	1,500	(+2.4%)
海外売上			8,773	(△0.2%)	7,919	(△9.7%)	10,500	(△7.1%)
営業利益			607	(+24.5%)	228	(△62.4%)	280	(△47.6%)
〈営業利益率〉			<6.2%>		<2.5%>		<2.3%>	
経常利益			679	(+10.5%)	280	(△58.7%)	340	(△46.5%)
〈経常利益率〉			<6.9%>		<3.1%>		<2.8%>	
四半期(当期)純利益			400	(+28.7%)	143	(△64.2%)	170	(△36.9%)
〈四半期(当期)純利益率〉			<4.1%>		<1.6%>		<1.4%>	
営業利益の変化要因 (対前年)			(増益要因)		(増益要因)		(増益要因)	
			売上増加による 荒利の増加	207	調達による原価低減 販管費の減少	80 33	調達による原価低減 販管費の減少	110 85
			販管費の減少	156	原材料価格変動影響	17	原材料価格変動影響	20
			調達による原価低減	60				
			減価償却費の減少 商品構成変化等	26 8	(\_\)\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.		(\4\/	
				0	(減益要因) 為替の影響	△154	(減益要因) 為替の影響	△176
			(減益要因)		売上減少による 荒利の減少	△110	研究開発費の増加 減価償却費の増加	△60 △24
			為替の影響	$\triangle 250$	研究開発費の増加	$\triangle 46$	売上減少による	$\triangle 21$
			研究開発費の増加	$\triangle 45$	減価償却費の増加	$\triangle 1$	荒利の減少	
			原材料価格変動影響	△43	商品構成変化等	△198	商品構成変化等	△188
為替レ	為替レート (US\$) (換算レート) (EUD)		81円		79円		78円	
(撰身V=N) (EUR)			113円		102円		102円	
二輪車販売台数合計			5,328		4,521		6,266	
		日本	80		73		95	
		海外	5,247		4,448		6,171	
	北 米		45		51		72	
		欧 州	150		135		173	
		アジア	4,632		3,864		5,379	
		その他	421		398		547	

<sup>\*</sup>カッコ内:前年同期比の増減率%(小数点第2位を四捨五入)

<sup>※</sup>上記の連結業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき、当社が合理的と判断した見通しであり、実際の業績は、経営環境の変化、市場の需要動向、為替の変動等により、大きく異なる可能性があります。